

シャクヤク末の分析 —日本薬局方—

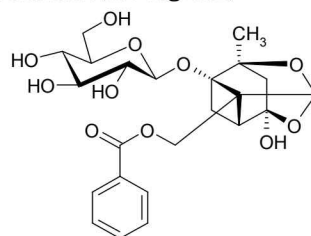
Analysis of Powdered peony root

生薬であるシャクヤク末の有効成分のペオニフロリンは鎮静、鎮痛、抗炎症、血圧降下、血管拡張、平滑筋弛緩作用が認められています。日本薬局方で収載の芍薬中ペオニフロリンの定量法である液体クロマトグラフ法ではペオニフロリンと p-ヒドロキシアセトフェノンの分離度が 3 以上の ODS カラムの使用が指定されています。

ここでは第十三改正日本薬局方に準拠した方法で抽出から分析までを行いました。

Std.

1. Paeoniflorin (0.1 mg/mL)



2. p-Hydroxy acetophenone (0.1 mg/mL)

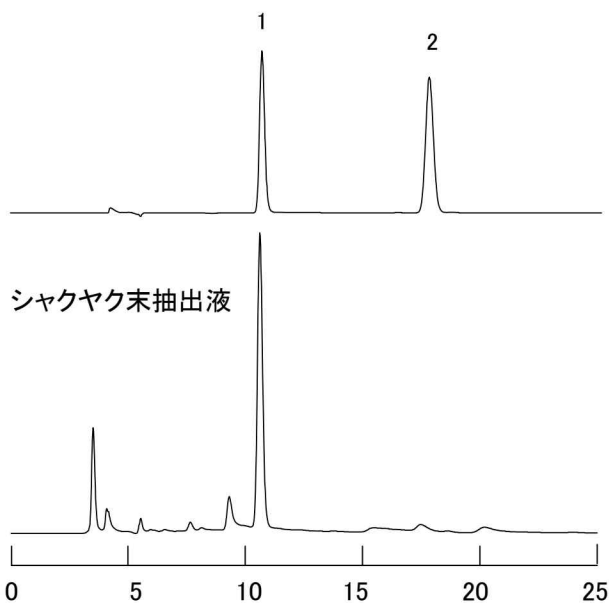
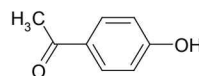


Fig. Chromatogram of Paeoniflorin.

【Analytical conditions】

Column:	L-column ODS (C18, 5 μ m, 12 nm) 4.6 mm I.D. $\times$ 150 mm L.
Mobile phase:	CH ₃ CN/H ₂ O (20/80)
Flow rate:	0.4 mL/min
Temperature:	20°C
Detection:	UV 230 nm
Injection vol.:	10 μ L
System:	—